

自分で動き、考える。「気づく」ことから、人は成長します。

日本再生人材育成支援事業  
正規雇用労働者育成支援奨励金  
非正規雇用労働者育成支援奨励金  
対応カリキュラム

保育事業所様向け  
研修カリキュラムのご案内



株式会社アチーブ・コンサルティング  
〒760-0042 高松市大工町 5-1 松本ビル 3F  
TEL 087-813-1426 FAX 087-813-1427  
HP : <http://www.achieve-cg.jp>

不安を自信に変える“実践トレーニング”で体得していただく研修です。  
「気づき」を与え「やる気」を起こす！これがアチーブの研修です。

費用をかけずに効果を上げる！人材育成  
助成金を活用した研修をサポートいたします。

「日本再生人材育成支援奨励金」を利用して園内研修を充実させ、“安心・信頼・満足”  
を高めた保育サービスの質の向上を目指し、職員のスキルアップを図りませんか。

### 保育サービス向上研修

研修科目	時間	研修内容
1 子どもの発達理解と子ども理解	2	子どものあそびをつなげていくと、保育者同士のつながりも広がります。子どもの一言、姿、遊びの様子をエピソードや写真で語り合いから学びます。
2 保育と絵本	2	絵本は子どもにも大人にも、読む人それぞれの楽しみを与えてくれます。さらに、絵本は、子ども理解、人間理解、保育の原理や方法論、保育者論、環境論などのヒントを与えてくれ、まさに保育学の宝庫です。絵本を楽しみながら保育を学んでみませんか。
3 保育環境と保育者の役割	2	子どもにとって保育者は心のよりどころです。それを土台に環境の中に居場所ができます。「保育は環境が保育する」とよく言われます。子どもの発達に応じた保育環境を保育者の役割として考えてみませんか。
4 保育を伝える	2	遊びや生活を通して生きる力と基本的な生活習慣が身につく子どもたちです。その保育を誰に、何を、いつ、どのように、伝えますか？ 気になることを思い思いの言葉で話し合うことで保育を伝える意義が見つかります。
5 育ち合う保育のなかで園内研修と保育の振り返り	2	子ども・保育者・保護者が保育を通して育ち合うとき、保育がもっと深く楽しいものになります。 保育は一人ではできません。職員のチームワークや保護者の理解で成り立ちます。園内研修の持ち方を学びます。
6 保育者としてのモラルと保育現場の実践マナー	2	子どもの命や人格にかかわる重大な責任を担う保育者としてのプロ意識を高めるとともに、必要なモラルについて理解を深めます。また、保護者をはじめとする関係者の方々に安心・安全、信頼していただける保育サービスを実現するために求められるマナーについて実践的に学びます。
7 保護者とのコミュニケーション・相談援助	2	質の高い保育を実践するためには、保護者と円滑なコミュニケーションを図り相互理解を深め、信頼関係を築くことが欠かせません。「傾聴スキル」や「伝え方スキル」を、ワークをとおして学び、コミュニケーション力アップを図ります。
8 保育現場での要求・クレーム対応	2	クレーム対応の基本技法を学び、保護者からのクレーム対応力を高め、信頼関係向上とCS向上につなげます。
9 保育サービス向上のための「報・連・相」	2	保育現場で求められる職員間の連携を図るために欠かせない「報告・連絡・相談」の3つのスキルを、事例をとおして実践的に学びます。
10 保護者・地域から求められる保育士・保育所とは	2	グループワークをとおして組織の一員としての役割、保育士としての使命を明確にします。また、保護者や地域社会から求められる保育士・保育所とはどのようなものかを考察し、保育サービス向上に向けた気づきを高めます。